

特集

Special Feature

- ① 教員×学生 対談企画
「球場を満員にするプロジェクト」を振り返って
- ② 帝塚山大学パリ特別講演会
『正倉院と8世紀皇室の至宝
～夫婦の愛が遺した世界の宝～』を開催



2015年9月23日佐藤薬品パファローズスタジアム©ORIX Buffaloes

- | | |
|---------------|--------------------|
| 6 キャンパスレポート | 15 クローズアップニュース |
| 10 研究室訪問 | 16 帝塚山 NEWS&TOPICS |
| 12 クラブ・サークル活動 | 18 お知らせ・イベントニュース |
| 14 卒業生紹介 | |



帝塚山大学公式イメージキャラクター
「てじかっきー」

芳井さん 私は、協賛依頼などには参加できなかったのですが、企業へ行くための資料作成を手伝いながら、いろいろな企業にお願いをするのには、提案をいくつも出さなければいけないのかと、本当に驚きました。

ただ、企業が協賛してくれると聞いたときは、自分たちの案が通るとこんなに嬉しいということを改めて実感してとてもそれが印象に残っています。



経済学部 寺地 祐介 准教授
TERAJI YUSUKE

向井副学長 ウェスタン・リーグ公式戦の試合当日日本番は、皆さん現地で奔走されたことと思います。球場でのご担当ごとに思い出に残るエピソードなどありませんか。

芳井さん 私はマーケティングチームに参加したのですが、1年生なのに、調査班1班のリーダーになると先生に言われ、びっくりしました。しかも、目標3000人を大きく上回る5000人も来場者が来ると思っていなくて、調査班の他のメンバーの方に指示を出すどころか、来場者の多さにただ圧倒されてしまいました。他のメンバーの方のサポートがあつて、何とか調査票を集めることはできましたが、本当に助かりました。今年はサポートしてもらったので、来年は下級生や初参加の人へのサポートをしっかりしたいですね。

重森さん 僕もマーケティングチームで参加したのですが、5班ある調査班の一つのリーダーで、当日は他のメンバーに指示を出しながら、自分も調査票を回収する必要性に迫られていました。当日の調査では、まず来場者の多さにビックリしました。5000名という誰も予想のできなかった数の入場者で、開場前の10時から調査が始まり、試合終了まで、ずっと調査でした。その間も、先生からインカムで、「何枚、回収できた？」と何度も聞かれ、正直に言って、少し怖かったです(笑)。

山本さん チームサポートについて言えば、試合当日は、決められた時間の中で決められた仕事をこなさなければいけないのは正直しんどかったですね。朝も早かったので、部員がみんな時間通りに来てくれるかということも、かなり心配しました。実際、先生には、当日の朝、何度も「大丈夫か？」と確認されました(笑)。



プロジェクトも一段落し、和やかな雰囲気での対談となりました



経営学部 日置 慎治 学部長
HIOKI SHINJI

日置先生 経営学部では年度初めの履修指導の際に、こういう新しい取り組みがあるので積極的にかわりたい学生は受講登録するようにと案内をしました。そういう意味では精力的な学生が集まったと思います。ただそのことと、実際に球場を満員(目標3000人)にするということは全く別次元の話だと考えていました。したがって、結果的には5116人を達成できたことは驚き以外のなものでもありません。その根拠として様々な分析を行っておりますが、ここでは敢えて、学生の力が結集した結果であると主張したいと思っています。

向井副学長 プロジェクトに関わった学生を代表して3名の学生に集まっていたいただきましたが、約半年間の取り組みの中で、皆さんが印象に残っていることについて聞かせてください。

山本さん 公式戦がシルバーク最終日の祝日ということもあり、野球部では、1週間前の段階で当日に部員が何人来てくれるかわからなかったことで苦労しましたね。先生にも、その点はかなり叱られました。そんな中、重森君はじめ、他の軟式野球部で受講している学生と、一人一人の部員に連絡し、「頼むから来てくれ」とお願いしたことは鮮明に覚えております。また、他の部員が、「主将たちが困っているのだから、みんな、助けてやろうぜ」と部全体に声をかけてくれたことも、ありがたかったですね。

日置先生 学生たちが数名のグループ単位で議論する形態が授業の中心でしたが、経済学部と経営学部で、しかも学年もバラバラの学生たちですから、当初は議論もすぐに静かになっていったような印象があります。しかし途中からは議論も活発になり、また、まとめ役や記録役など自然に役割分担ができ、グループ単位でも、また授業全体でもいい雰囲気になっていったと思います。まさにアクティブ・ラーニング、一方的に何かを伝えるタイプの授業とは全く違う一面だったことが印象的です。

寺地先生 いろいろな印象に残ることは多かったです。両学部の学生のみならずが学部の垣根を越えて一つの課題に取り組み姿勢はとも印象に残っています。また、議論においては、やはりそれぞれの学部の専門性がしっかり出ていたことも良かったように思います。経済の学生について見ると、やはり経済学の前提である利己的な人々、今回の場合であれば、特に協力をお願いする企業にどう働きかけるかということについて、相手にとって何が得かという視点で、しっかりとした議論ができていたように思います。



特集 Special Feature 1

オリックス・バファローズ × 奈良県 × 帝塚山大学

「球場を満員にするプロジェクト」を振り返って

経済学部の「プロジェクト演習・スポーツ経済」、経営学部の「実践的スポーツビジネス」の2つの講義において、オリックス・バファローズの三上尚弘部長と経済学部・経営学部の専任教員が連携して講義を重ね、受講した学生たちはグループディスカッションを通してアイデアを練り上げる。それにより、2015年9月23日(水・祝)開催のプロ野球ウェスタン・リーグ公式戦「オリックス・バファローズ対阪神タイガース」において、佐藤薬品スタジアムを「宣伝費0円で」満員(目標3,000人)にすることを目標に、本学学生が企画・マーケティングを担当するといった取組みです。



向井 篤弘 副学長(入試・広報担当)
MUKAI ATSUHIRO

向井副学長 まずは皆さんお疲れ様でした。当初の目標3000人を遥かに上回る5116人もの来場者を動員できたことは、奈良県、オリックス・バファローズの記録となるバファーマンスであつたと理解しています。

そもそもこのプロジェクトは奈良県から県内大学がプロデュースするプロ野球公式戦(ウェスタン・リーグ)プロジェクトを奈良県大学連合に提案してきたことから始まり、奈良県庁での説明会で帝塚山大学として取組みたいと発言したことがきっかけでした。

結果、「県内初、球界初の試みとして県・球団と帝塚山大学の連携によるプロ野球ウェスタン・リーグ公式戦開催に関する取組について」5月13日奈良県庁記者会見場にて荒井奈良県知事、西名オリックス球団社長、岩井学長の3者で合同記者発表を行い、プロジェクトが正式にスタートしました。

そのあとは皆さんがご存知のとおり、高い目標での取組みが要求されることとなりました。

寺地先生 そもそも設定された課題が「宣伝広告費がない中で、球場を満員にする方法を考える」という非常に難易度の高いものでした。ですので、やはりプロのビジネスマンであるオリックスの担当者が、講義で出される課題のレベルが非常に高く、学生の意識をそのレベルにどう合わせるかというところに苦労しました。時には、学生のみさんと議論をしながら、与えられた課題の正解を探すこともありました。

ただ、学生のみさん、奈良県やオリックスの期待に応えようとよく頑張ってくれ、毎月出される課題の提出物について、オリックスの担当者の方からは、お褒めの言葉もいただきました。また、学生のみさんが出した提案は、オリックスの担当者をはじめとした大人が実際に動くきっかけにもなっていました。その面でも、オリックスの担当者は、学生たちの頑張りのおかげで、非常に動きやすかつたということもおっしゃっております。

特集 Special Feature 2

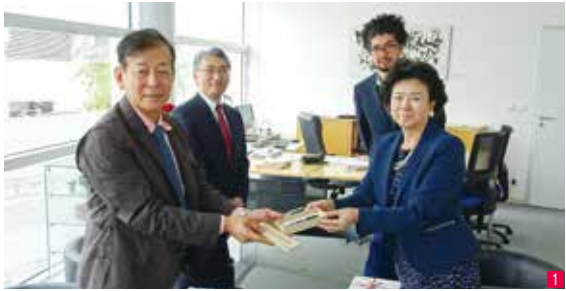
実学の帝塚山大学、いよいよ海外へ進出!

帝塚山大学パリ特別講演会 『正倉院と8世紀皇室の至宝 ～夫婦の愛が遺した世界の宝～』を開催



本年9月22日(火)、フランス共和国パリ市にあるパリ日本文化会館において海外講演を開催いたしました。この講演会は、パリ在住の本学21期卒業生ブーランドゥサン・ペール・メグミさんがコーディネーターを務め、日本文化の発信拠点であるパリ日本文化会館の協力のもと実現に至ったものです。8月上旬より同会館のホームページで申し込み受付をスタートすると、申し込み状況は順調な滑り出しを見せ、開催1週間前には客席が事前予約で満員となりました。講演当日には、良い席を確保したい事前申込者が1時間前から行列を作ったことにより開場時間が早められ、客席はあつという間に満席となる盛況ぶりでした。講演会は、ブーランドゥサン

ペール・メグミさんの司会で始まり、竹内佐和子パリ日本文化会館館長のご挨拶に続き、大学を代表し岩井学長による開会挨拶がフランス語で行なわれ、講演者の文学部文化創造学科 牟田口章人教授が監修した正倉院宝物のDVDが記念品としてパリ日本文化会館へ贈呈されました。講演オープニングで、正倉院宝物のひとつである香木「蘭奢待」を参加者にイメージしていたため、「沈香」を場内にて香炉で回し嗅ぎしてもらう演出が行なわれたり、正倉院所蔵宝物のガラスレプリカを用い、1300年前の明かりを再現するパフォーマンスも披露され、日本文化に強い関心があるフランスの方々にとって好評を博して終演を迎えました。終了後も多く



1 パリ日本文化会館へ表敬訪問 (写真右：竹内佐和子 館長)
2 岩井学長による開会挨拶
3 正倉院所蔵ガラスのレプリカを使い、1300年前の明かりを再現するパフォーマンス
4 講演会オープニングの様子
5 講演終了後の質疑応答の様子

の参加者が演壇に駆け寄り、閉館時間まで質問をされる方が列を作り、本講演会に対する関心の高さをうかがうことができました。また、11月3日(火・祝)には、奈良市内へ会場を移し『正倉院展特別公開講座』を開催いたしました。こちらは本学が日本文化を伝える学科を有する大学として、毎年秋に奈良国立博物館で開催される「正倉院展」開催に合わせて開講しているものです。奈良春日野国際フォーラム

の参加者が演壇に駆け寄り、閉館時間まで質問をされる方が列を作り、本講演会に対する関心の高さをうかがうことができました。また、11月3日(火・祝)には、奈良市内へ会場を移し『正倉院展特別公開講座』を開催いたしました。こちらは本学が日本文化を伝える学科を有する大学として、毎年秋に奈良国立博物館で開催される「正倉院展」開催に合わせて開講しているものです。奈良春日野国際フォーラム



経済学部経済学科3年
重森 良太 さん

るという思いをもって、最後まで乗り切ることができました。
日置先生 私はオペレーション学生とオリックス側とのパイプ役(のようなもの)を担当しつつ学生たちの

の様子を見ておりました。受付では来賓の方や、選手の家族のような関係者など様々なタイプの方々が来られ、学生たちはそれぞれに違った対応を瞬時にこなしていました。

最初だけは少し戸惑っていたようですが、そこは対応能力の優れた若者です、すぐに慣れた様子でした。観客数が増え、当初予定していなかった外野を開けてほしいと来場者から強い要望が受付にあった時は、対応した学生も予想外の展開にびっくりした様子でしたが、結局は外野を開けて頂き、皆さんに満足してもらったことができました。

向井副学長 皆さんそれぞれに貴重な経験をされたことが良

会人の方々と様々な形で触れ合うきっかけとなりました。関

わりの中で、先ほど、山本君が言ったチームサポータースタッフの確保の際には、叱られることもありましたが、来年度の就活に向け、働くことのイメージができたように思います。

課題は、どれも大変なものばかりでしたが、受講している他の学生さんとチームで一緒になって考えることで、解決に向けた提案をすることができました。この経験から、チームとしてしっかりと目標を持ち、協調性を持って、与えられた課題に取り組みすることで、大変な問題でも解決策を考えることができるということ学んだように思います。こういった経験を、ぜひ来年度の就職活動やその後に活かしていきたいと思っています。



経営学部経営学科1年
芳井 菜月 さん

かということ学ぶ機会となりました。こういった経験は、来年度の就活の際にもしっかりとアピールしたいと思っています。



経済学部経済学科3年
山本 修司 さん

うことを知る機会として、良い経験であったように思います。また、学生のみならずからすると、あるいは、私にとってもですが、プロのビジネスとして、非常に難易度の高い、また社

会的に注目された現場にかかれたこと、また、目標を大幅に上回る結果を残せたことは、大きな自信につながるのではないのでしょうか。

私自身、来年度も、このプロジェクトにかかわることになっていますので、学生のみさんの成長の糧となるよう、しっかりとかわつていきたいと思っています。

日置先生 今回この事業に関わった学生に関しては、この経験を踏まえ、何事にも積極的にかかわってほしいと思います。受講しようとしたことが第一歩(ホップ)、プロジェクトで大成功を収めたことが第二步(ステップ)、そしてこれからが第三步(ジャンプ)です。今後の活躍に大いに期待します。

大学には様々なプロジェクトが進行しており、また、今後も出てきます。その際にまずは第一歩を踏み出す勇気がとても大切だと思っています。

向井副学長 みなさん貴重な感想・ご意見ありがとうございました。

次年度についても奈良県より説明会が案内されています。その中には今年度大きな注目を浴びたこと、結果に対しての満足度が現れています。加えて次年度はより多くの大学に参加していただき、県としてもより一層の充実を図っていききたい旨が記載されています。

次年度も夏に向けて開催が調整されています。その成功に向けて奈良県が県内大学・学生が参加する特別プロジェクトチームの形成を依頼するものです。帝塚山大学としてもより多くの大学が参加されることを期待していますし今年度の学び・経験を活かし、特別プロジェクトチームで中心的な役割を担いたいと考えています。

今年度は県内初、球界初という取組の新規性に目がいきがちですが、実際には経済学や経営学の学びに立脚し、その学びを活かした戦略戦術を地道に行った結果だと考えています。学生たちがプロの厳しい目線を学び、それを前提として提案し教員と共に実行した結果です。次年度も今年度の実績を糧に、学び、実践し、また学ぶという実学の帝塚山大学の取組みを実現していただけるものと期待しています。



06 現代生活学部 居住空間デザイン学科 建築CAD検定試験(2級)優秀団体賞を受賞!

7月19日に行われた第61回建築CAD検定試験(2級)の成績により、本学は一般社団法人全国CAD連盟から2級「優秀団体賞」をいただきました。CADとはコンピュータで設計図などを描くシステムのこと、建築やインテリアの仕事をしていく上では必須ともいえる、重要な技能です。本学の今年の合格率は97.4%と、全国平均に比べても非常に高く、ひとりひとりが努力して勝ち取った学習の成果が受賞につながったことを誇らしく思います。学生みなさん、本当におめでとうございました。

07 現代生活学部 こども学科 KJ法で小学校実習をふりかえる

9月にほとんどの3年生が教育実習(小学校)を終え、充実した顔つきで大学に戻ってきました。教育実習事前事後指導(小学校)では、KJ法で小学校実習をふりかえりました。KJ法とは、個人の感想などを付箋紙に記し、類似の付箋を集めてグルーピングしていくという方法です。



全国に小学校は約20,000校あります。自身の1/20,000の体験を、他の学生と共有することで、小学校に対する理解をより深めてもらうことがねらいです。この後、各グループで報告会もおこない、充実した事後指導となりました。

09 現代生活学部 食物栄養学科 ならどっとFM「ひるラジ!784」に 学生が生出演しました

10月7日(水)に、食物栄養学科の稲熊教授とゼミ生3名、経営学科3年生1名が生出演し、大和ペジサイダーの開発秘話をお話しました。大和まなは青臭さが出てしまい、片平あかね(蕨)はお漬物の味になってしまうことに対し、果汁を加えることで解決した苦労話を紹介しました。商品名は使用した野菜の名前を女の子に見立て、長女「まな」、次女「あかね」とし、現在、三女の開発に工夫を凝らしています。今後の三姉妹の活躍にご期待ください。



08 文学部 英語コミュニケーション学科 イングリッシュ・カフェを開催しています

英語コミュニケーション学科では、英語を実践的に学べる場として、2007年に最初の「イングリッシュ・カフェ」を開催して以来、今日に至るまで継続的にこの行事を行っています。毎週火曜日のお昼休みに、現役学生、卒業生、定年退職後の人生の充実を求めて来られた方、主婦の方等多様なバックグラウンドを持つメンバーが集っています。ユーモアたっぷりのネイティブ・スピーカーと、食事やコーヒーを共にしながらの英語コミュニケーションの一時は、楽しい刺激で一杯です。皆様も、一緒にいかがですか?



10 心理学部 心理学科 本学学生が心理学検定を受検 一団受検者数は全国第1位に

8月23日に「心理学検定」が実施され、心理学部の学生諸君が受検しました。この検定は、日本国内の心理学系諸学会が加盟する「日本心理学諸学会連合」が主催し、大学心理学科卒業レベルの知識・能力を測定するものです。全国的に受検者数が年々増加していますが、今年の団体受検者数は本学が全国第1位(118名)となりました。10月には結果が返され、入学から半年足らずの1年生にも合格者が出ました。



試験対策講座の様子



01 法学部 法学科 奈良市消防局で体験授業を実施

8月7日(金)に、今年4月から開講している特殊講義「消防組織と消防実務」の集大成として、奈良市消防局・奈良市防災センターで体験授業を行いました。実際に装備を身につけ、現職消防官から指導を受けながら放水訓練など様々な訓練を体験しました。後期には奈良県警察とのタイアップで特殊講義「警察組織と警察実務」が開講され、春休みには警察学校の見学も予定されています。

02 経済学部 経済学科 経済学部のゼミ研究報告会の成果が外部の審査でも 評価される

中嶋航一教授のゼミ生が、日本クリプトコイン協会主催のビジネスプランコンテストに応募。9月5日の最終審査でプレゼンを行い、見事グランプリを獲得しました。ゼミ生の福原拓哉さんと橋本篤志さんは、昨年の経済学部ゼミ研究報告会で優秀賞を獲得した「仮想通貨ビットコインの金融イノベーション」の研究を継続し、今回のコンテストに「ビットコインのファンタジー投資」というテーマで応募しました。このビジネスプランは、誰でも楽しく金融投資を経験・学習できるように、アメリカで流行している「ファンタジースポーツ」を株式やFXの投資に応用したものです。今回のコンテストへの応募は、ちょうど6月から夏にかけての就職活動の時期と重なり、時間的にも精神的にもたいへんな時期でした。しかし彼らは夏休み中に中嶋研究室で勉強会を頻繁に開催し、最終審査の準備に取り組みました。発表はとても緊張していたようですが、新しいことに挑戦して結果を出せて「自分たちでも頑張ればできるという自信がついた」と受賞の喜びを語りました。



喜びの授賞式写真：中央左側が橋本さん、右側が福原さん。

03 経営学部 経営学科 産学連携によるオリジナル スノーゴーグルが販売開始!

経営学部穂原寿識講師のゼミと株式会社DUKEとのコラボレーションにより開発したスノーゴーグル「TEZUKA CHIC」価格：8100円(税込み)が、京セラドームで2015年11月20日から開催されるJSBC(ジャンプスノーボードコレクション)主催「スノースポーツアイテムフェア」にて販売開始されました。以後、全国各地で開催される同イベントにて継続販売されます。これに先駆けてゼミ生は、スノー業界におけるニーズの市場調査から始まり、ゴーグル・サングラスのメインデザインと各種パーツのグレード選定を行いました。11月の京セラドームのスノーバーゲンでは、ゼミ生が実際に店頭販売を行いました。



04 文学部 日本文化学科 正倉院講座と正倉院展見学を実施

奈良国立博物館の正倉院展は奈良の秋のビッグイベントですが、10月27日に今年の正倉院展に向けて合同基礎演習と合同のゼミナールⅠとして、正倉院講座を行いました。杉崎貴英准教授が宝物について、鷲森浩幸教授が文書について、今年の見所を紹介しました。10月30日には実際に正倉院展を見学しましたが、講座の効果か、1年生を中心に50名を超える学生が参加し、貴重な宝物を熱心に見学していました。



05 文学部 文化創造学科 第2回ソーシャルビジネス開発研究会に参加

西大とニュータウン地域では、「他地域から注目され、地域内外の人々が集い、“おもろい”ことをやっている持続可能な地域」への発展を目指し、「ソーシャルビジネス開発研究会(SB研)」が開催されています。本学の学生たちもSB研に参加し、地域の方々とともにソーシャルビジネスを創りだそうとしています。10月24日には全体会議の後、今年度に取り組むテーマごとのワークショップにおいて真剣で活発な議論が行われました。



わが国では『大正月』と『小正月』の二度の正月を祝う。一月一日を大正月というのに対して、一月十五日を小正月という。厳密には十四日の日没から十五日の日没までをいう。大昔の日本では、月の満ち欠けによって、満月から満月までを一ヶ月としていた。昔の人は満月をめだたいものの象徴としていた。この日を月の初めと考えていたのであった。そこで、新月から新月を一ヶ月とする新しい暦が中国から入ってきて、時の政府によって、それが公の暦とされ朔正月が正式な一年の初め

となった。新しい暦では一日を「朔」と書き、月は新月のため太陽に隠れて見えないが、十五日には満月となり、その日を「望」と書いた。しかし、一般庶民のあいだでは、古い暦がいつまでも生きていて、十五日も望の正月として祝われてきた。そこで元日を「大正月」、十五日を「小正月」と呼ぶようになった。また、元日から十四日まで



餅花飾り

「民俗」よもやま噺し 大正月と小正月

帝塚山大学名誉教授（元・帝塚山大学学長）
国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士
岩井 宏實

「松の内」というのにたいして、十五日から月末までを、削り花や繭玉飾りがあるあいだという意味で「花の内」という言い方もする。



この椅子は前回紹介したウィロー・チェアと同じく、スコットランドの建築家・インテリアデザイナーのチャールズ・レニー・マッキントッシュの作品である。別名を「ヒルハウス・チェア」といい、本来マッキントッシュの設計した住宅「ヒルハウス」の主寝室のためにデザインされたものであった。背もたれ部分には床面近くから上部まで梯子状に横桟がはいっており、その材料の寸法と間隔の生み出す美しさは、反復の美学として、マッキントッシュのデザインを決定づけている。この椅子が置かれ

帝塚山大学所蔵 Chair Gallery 紹介 ラダー・バック・チェア (Ladder Back chair) 1902年

現代生活学部居住空間デザイン学科准教授 矢部 仁見

主寝室は、壁、天井、その他の家具はほとんど真っ白のインテリアであり、暗い色の木質系のインテリアが主流であった当時にはそれだけでも斬新なものであったが、その白い空間に置かれたこの黒のラダー・バック・チェアはその空間のアクセントとして非常に重要な役割を果たすものであった。快適に休息するための家具ではないが、この椅子の持つ存在感は100年の時を超え、近代デザインの美を現代に伝える世界的な名作となっている。

CAMPUS REPORT 2015 July-December

11 心理科学研究科 心理科学専攻 中京大学大学院と合同心理学研究会を開催

9月17日に名古屋市の中京大学大学院と合同で心理学研究会を開催しました。今回で8回目の合同研究会となりますが、本学からは、今年度より着任の河越隼人専任講師が「基礎的なカウンセリング技法がもつ傾聴的機能」というテーマで発表をしました。内容は、カウンセリング場面での傾聴がクライアントにどのように役立つかについてで、発表後もフロアとの白熱した議論が続きました。

フロアからの質問に応答する河越講師

12 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 鬼瓦から歴史を復元する

考古学を専攻している博士前期課程1年の寺農織苑さんは、清水昭博教授の指導のもとで「近世大和の瓦の流通」の研究に取り組んでいます。大学院入学後、寺農さんは、地元・平群町の寺院をめぐり、お堂に葺かれている鬼瓦の調査を始めました。これまでに集めた鬼瓦の数は約300個。時代は江戸初期から現代までのものがありますが、なかには、鬼瓦を制作した職人の名前や制作年を記した鬼瓦など、近世大和の瓦の流通を考えるうえで重要な資料もみつかっています。修士論文の執筆まで残り一年。寺農さんの前人未到の鬼瓦調査は今日も続きます。

鬼瓦を調査する寺農織苑さん（右）



13 法政策研究科 世界経済法制専攻 研究報告会を開催しました

法政策研究科では、6月に大学院生による研究報告会を開催しました。10日（水）には博士後期課程の岡田高明さんが博士号請求論文のテーマ「コミュニティ政策の理論と課題」について発表し、24日（水）には博士前期課程の院生4名が知的財産法、国際私法に関するテーマで研究発表を行いました。両日も活発に質疑応答がなされ、法政策研究科担当の教員から指導が行われました。

写真左から 博士後期課程：岡田高明さん 法政策研究科長：佐野隆 教授（司会）
博士前期課程：小原雅司さん 博士前期課程：劉 琛（リュウ チン）さん



14 経済学研究科 経済学専攻 修士論文の中間発表会を開催

経済学研究科では9月から10月にかけて、大学院生による修士論文の中間発表会を実施しました。前期課程所属の李瑩瑩（リ エイエイ）さんは、固定為替相場制度及び変動為替相場制度という二つのレジームの下で資本自由化が中国経済に及ぼす影響について報告しました。また同所属の田帥（デン スイ）さんは、円安下の日本の観光ビジネスの可能性について独自のアンケート調査結果とマクロ経済データを駆使し、特に中国人観光客の増加の背景について詳細に報告しました。今回の発表会では、論文審査担当の教員による活発な質疑応答があるなど白熱した発表会となりました。

大学院生の李瑩瑩さん



本学教員の執筆図書紹介

Introducing Teacher Research Books

川口 洋
（文学部 教授）分担執筆

徳川日本の家族と地域性
歴史人口学との対話
ミネルヴァ書房 ¥8,640

黄 韜霆
（法学部 准教授）

中国国際私法の
比較的研究
帝塚山大学出版会 ¥3,780



清水 婦久子
（文学部 教授）編集

源氏物語とポエジー
青簡舎 ¥7,560

高橋 幸裕
（元 心理福祉学部 講師）

介護職の職業発展的
課題と専門能力
帝塚山大学出版会 ¥2,700



竹本 亨
（経済学部 准教授）分担執筆

望ましい地方税のありかた
奈良県税制調査会からの発信
清文社 ¥2,592

西山 厚
（文学部 教授）

語りだす奈良
118の物語
ウェッジ ¥1,620



松木 智子
（経営学部 教授）分担執筆

Learn Management of
Global Supply Chain
World Scientific Pub.Co.Inc.
洋書のため参考価格 ¥14,292

吉村 泰志
（経営学部 准教授）分担執筆

経営戦略論を学ぶ
創成社 ¥2,376



（著者名50音順）



石田先生の著書

The Voice of Seminar Students ゼミ生の声



加藤 範子 さん (4年)

ゼミナールでの印象的な出来事は何ですか？

3年生前半のゼミナールでは、オリエンテーションとして石田先生が提案してくださった様々なゲームを通してゼミメンバーの仲を深めていきました。また、授業のはじめには「1分間スピーチ」を行っていますが、普段から和気あいあいとしている石田ゼミの雰囲気が、この1分間スピーチの時間では一段と盛り上がります。オリエンテーションや1分間スピーチは、ゼミの雰囲気を作る大切な活動であったと感じています。

卒業研究のテーマと取り組みについて教えてください。

卒業研究では、「平和教育における特攻隊の存在」というテーマで研究を進めています。石田ゼミでは、ゼミナールの授業において順番に卒業研究の進捗状況や内容を発表し合い、質問を受けたり、意見交換したりして取り組んでいます。発表を重ねていくごとに、それぞれの進み具合が変わり、内容が濃くなっていくため、メンバー同士刺激し合い、全員が良い論文をつくろうと励んでいます。

石田ゼミで学んだことを卒業後の進路で、どのように活かそうと思っていますか。

ゼミメンバーと話し合ったり協力したりする場面が多くあったため、「コミュニケーション能力」「協調性」を養うことができたと感じています。私は、保育士を目指していますが、保育実習等を通して、子どもとの信頼関係をつくること、また、他の職員と協力・連携することの重要性を学びました。石田ゼミで学んだ「コミュニケーション能力」「協調性」を活かし、保育士という子どもの成長を身近で感じられる仕事を全うしていきたいと思っています。

て保育政策のあり方について考察しました。今後は、この内容をさらに深めていくとともに、NPO法人の活動で携わっている子育て支援についても取り組んでいきたいと思っています。

ゼミナールでは学生たちにどのような取組みをさせているのか、お教えください。

卒業研究のテーマは、子ども家庭福祉学に限定せず、子ども福祉、保育、教育に関連するテーマを学生が自由に選んで自分の考えをまとめていきます。「卒業研究は、個人作業ではなく、ゼミメンバーでの協同作業」という考えのもと、最後まで一人ひとりのテーマについてゼミメンバー全員で意見交換しながら進めています。

最後に学生たちへメッセージをお願いします。



Office Introduction

研究室訪問



現代生活学部／こども学科

石田研究室

先生のご専門と研究のいきさつについてお教えください。

子ども家庭福祉学です。社会福祉を学ぶために大学に入学し、子どもたちと関わる活動をしているなかで子ども家庭福祉領域に関心を持つようになりました。

「子ども家庭福祉学」のご研究とは、どのような研究ですか。また、その魅力は何でしょうか。

子ども家庭福祉学とは、文字通り、子どもとその家庭の福祉に関する学問領域です。具体的には、子育て支援、保育、障害がある子どもへの支援、児童虐待対策、社会的養護、非行児童への支援など幅広い内容を含んでいます。その魅力は、子どもが健やかに生まれ、育っていく環境を整備するとともに、実践の学問として子どもやその家庭の支援に関わっていくことができることです。

ゼミにおける学生との取組み内容についてお教えください。

ゼミでは、①保育問題、教育問題などの社会問題を幅広く考える、②学習に対する姿勢、方法を身につける、③社会人として不可欠な力を養う、の3つの目標を掲げて取り組んでいます。また、ゼミでは「1分間スピーチ」

を行っています。「1分間スピーチ」とは、毎回のゼミのはじめに、私も含めて全員が1週間の出来事や活動、関心のあることなどについて1分で報告するというものです。はじめは戸惑う学生もいますが、次第に時間オーバーするくらい話ができるようになり、発表力が飛躍的に向上していきます。それぞれの性格や特徴が出て、またおもしろい情報を聞くことができ、毎週のゼミが楽しみです。

今後の研究の方向性や抱負についてお教えください。

博士論文のテーマは「営利法人に対する保育政策に関する研究」と題し、保育サービスの実態調査を通し



子どもが健やかに生まれ、育っていくための環境を整える

現代生活学部／こども学科

石田 慎二 准教授 SHINJI ISHIDA

2000年大阪市立大学生生活科学研究科人間福祉学専攻修了。

名古屋学芸大学講師、関西大学助教などを経て現職。

2014年同志社大学社会学研究科社会福祉学専攻修了。博士（社会福祉学）。

NPO法人子育て支援を考える会 TOKOTOKO 理事。社会福祉士。

民俗学
研究会

民俗調査をおこないました！

民俗学研究会—通称“民研”は、1年生6名、2年生4名、3年生2名の総勢12名で現在活動をしています。

夏休みが始まった8月6日には、生駒市沓町にある往馬大社(いこまたいしゃ)の例大祭「火祭り」で火出しをされておられる辰巳清一さんに本学へお越しいただいて、聞き取り調査を行いました。往馬大社の歴史や祭りをを行う際の準備や手順などを教えてもらったり、実際に火出しに使われるススキ15,000本で作られたゴムシと呼ばれるものを持ってきて頂き、部員一人ひとりが祭りさながらに抱え上げてみたりと、普段はできない体験をさせていただきました。

奈良・東生駒 CAMPUS



第3クラブハウスと合宿所が生まれ変わりました！



- 1 第3クラブハウス 外観
- 2 セミナーハウス三碓（みつがらす）外観
- 3 応接スペース
- 4 「セミナールーム みつがらす」

帝塚山大学の創立50周年事業の一環として同窓会からのご寄付をいただき、昨年度より老朽化が進んでいた合宿所と第3クラブハウス（女子大学時代の旧三碓寮）の「耐震強化と美装改修」工事に着手していましたが、今春、第1期工事が無事終了し、新装された第3クラブハウスがお披露目され、利用する各クラブの部員からは、非常に快適だと好評を得ています。

9月中旬には第2期工事の合宿所改修作業も終了し、セミナーハウス三碓（みつがらす）として生まれ変わりました。もともと女子大時代には寮として利用されていた建造物で、現在は合宿所として利用されていたものです。明るいエントランスは長い廊下で印象的で、廊下の先には、一息つける応接スペース



があります。

エントランスの正面突き当たりには、セミナールームが2つあります。この2つのセミナールームは女子大時代の三碓寮にちなんで「セミナールーム みつがらす」、帝塚山大学同窓会わかみどり会にちなんで「セミナールーム わかみどり」と名づけられました。このセミナールームは、打合せや講座、また、学生の吹奏楽やダンスサークルの練習にも使用されています。

また、宿泊した際、使用できるラウンジも備えています。食事やパーティが行えるように、簡易IHキッチンと冷蔵庫も準備されています。

浴室には大人が10人ゆったり入ることができる浴槽があり、セミナーハウス三碓の大きな特長となっています。

宿泊施設は、洋室が9部屋、和室が5部屋あります。洋室には2タイプの部屋があり、2名でゆったり泊まることのできるツインルームと、大勢で泊まることのできる2段ベッドルームがあります。量の匂いが香る和室は、少人数で泊まるときの6畳部屋と、12畳の部屋があります。

今後は課外活動等の利用だけでなく、ゼミ合宿等の教育活動にも対応できるセミナーハウスとして利用できます。これにより課外活動団体の利用が増加するだけでなく、教育活動面でも学生の皆さんを支援できる施設となりました。



5 素敵なラウンジスペース 6 自慢の大浴場 7 明るいエントランス

CLUB ACTIVITIES

クラブ・サークル活動

クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。学生たちの元気な姿をお届けします。

Pick up!
レスリング部

創部以来の夢であった金メダリストが誕生！

7月4～5日に大阪府堺市・金岡公園体育館で開催された「平成27年度西日本学生レスリング新人選手権大会」に1・2年生の部員12名が出場し、グレコローマンスタイル98kg級で竹内亮巨さん（経済2年）がレスリング部創部14年目にして初の“金メダル”の栄冠を手にしたほか、上高玄輝さん（法2年）・高澤淳介さん（法2年）・谷利亜雅士さん（日本文化2年）・北村匠さん（経済1年）の4名が上位入賞を果たす好成績を残しました。

竹内さんは昨年度1年生で出場した同大会・種目で準優勝、さらには前日に行われたフリースタイルで順調に勝ち上がるも、以前に痛めた膝の調子が悪くなり苦渋の判断で準決勝を棄権していたことから、これまでのリベンジを果たす戦績に、そして自身でも初の優勝という快挙に、その喜びはひとしおでした。

また、この成績によって竹内さんは12月21～23日に東京・代々木競技場第2体育館で開催される「平成27年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会（兼リオデジャネイロ

オリンピック代表選考会)」の出場権も獲得しており、期待はふくらむばかりです。

これからもレスリング部の活躍に、どうぞ注目ください！



奈良・東生駒 CAMPUS

スポーツ
医学

曽爾高原での貴重な体験

9月18・19日の二日間、国立曽爾青少年自然の家にて高地滞在における生理学的応答の指標変化を検証するための合宿を行いました。到着後はまずミーティングを行い、緊急時の対応について確認し合いました。そして、近くの亀山（標高849m）で登山活動をしました。気圧や気温の低下だけでなく、強風あり岩場ありのコース。運動負荷は増加し、汗をたくさんかきました。苦労してたどり着いた頂上で、喜びを共有し、絆はさらに深まりました。二日目は朝からラジオ体操を全員で行い、宿泊棟の掃除の後、帰路につきました。都会では見ることのできない草原や山々の景色に感動しました。総勢28名という大人数での活動でしたが、一人一役を全うし、スマートな団体行動ができました。学びと遊び、『まそび』の心を大切に、これからも活動していきます。



奈良・学園前 CAMPUS

てづか
Farm

幼小合同バザーでパンケーキを販売！

11月3日、帝塚山幼小合同バザーに参加しました。てづかFarmは、畑で育てた薩摩芋を使ったパンケーキ、ネギやほうれん草など生野菜、そして大和ベジサイダーの販売をしました。天候にも恵まれ、お子様や保護者の方が食べてくださいました。

小さなお子様と間近に触れ合いながら、パンケーキの感想を聞くこともでき、とてもよい経験となりました。これからも自分たちで作った野菜を用いて様々な活動ができるように、大切に育てていきたいです。



奈良・学園前 CAMPUS

華道部

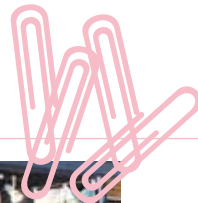
キャンパスに彩を

学園前華道部は、4年生1名、3年生4名、2年生4名の合計9名で活動しています。

ほとんどが初心者で、戸惑う事も多くありますが、大和末生流の花を生けることで精神向上を目指し、自然に触れる時間を楽しんでいます。食堂や学生ホール等みなさんがよく利用する場所にも作品を展示していますので、ぜひご覧ください。



奈良・学園前 CAMPUS



1 店頭でランチボックス販売を行なう学生たち
2 販売店となった「奈良のうまいものプラザ」
3 連日完売となりました！
4 ボリューム満ちヘルシーな内容
5 関係者の皆さんと何度も打合せをしました

奈良県民の健康長寿を目指して ～無病促菜で元気 100%事業～



4

平成27年8月10日(月)～平成27年9月7日(月)の平日毎日20食限定で、「奈良のうまいものプラ

ザ」(JR奈良駅構内)で販売されま

が創る奈良の未来事業」の公募において、公開審査を経て優秀賞に選ばれた「帝塚山大学・無病促菜で元気100%事業」が平成27年度に進められています。この事業は、奈良県民の野菜摂取量が全国的にみてかなり少ないことから、若い世代への健康意識の啓発や野菜を摂りやすい環境づくりをすすめ、県民の1日の野菜摂取量を厚生労働省がすすめる350gにすることをめざして現代生活学部食物栄養学科の学生たちが提案したものです。

事業の第1弾として、「若い世代にも気軽に野菜を摂ってもらうとともに、奈良の野菜の魅力や生産者の思いを伝える」ことを目的として、学生たちがメニュー提案を行い、ランチBOX「Happy Veggie Time」(ハッピーベジタイム)を開発しました。「Happy Veggie Time」(ハッピーベジタイム)とは、奈良県産の野菜をたっぷり使用し、一日に必要な野菜摂取量(350g)の半分を摂ることができる、栄養バランスに配慮したヘルシーなランチボックスです。

開発に関わった学生たちは、毎日売り子としてランチボックスの魅力の説明を加えながら販売を行いました。学生たちは元気な声で呼び込みを行ったり、のびりを持って駅近隣を回ったり、様々なアイデアを出してお客様にアピールし、その甲斐も

と担当し、他のセールスが今までやっていなかった事、出来なかった事を積極的にやりたいと考えています。そして、他のメーカーや問屋のセールスにもっと顔を広め、少なくとも近畿圏ではフルタ製菓のセールスと言え浅井と言われるような存在になって、フルタ製菓を引っ張っていける営業マンを目指します。

否が応でも多くの人と関わりを持つようになります。その中には今まで関わることの無かった世代の方や自分とは異なるタイプの方も居ると思います。いろんな経験・体験によって話題の「引き出し」が出来ていけば、そんな方とも仲良くなるチャンスが広がります。どんな仕事に就いても人間関係は重要です。コミュニケーションさえしっかり取れていれば、職場における仕事はやり易くなるはずです。

今後、第2弾として若い世代に対して「自分の食事に関心を持つこと、食を選ぶことの大切さを伝える」ことを目的とした「出張課外授業」を奈良県内の高校において実施する予定です。高校生が、野菜の働き・重要性など食をテーマにした参加型の課外授業を通じて、楽しく食や健康について学んでもらえるように、1～3月の授業実施に向け、県や教育委員会、高校の担当者や先生方と詳細な内容の打ち合わせを重ねています。

奈良県民の健康長寿のための一助となることを期待しています。



5

大学時代の思い出 ～仲間～

顧問やメンバー、活動場所など全てを自分たちで探したバスケットサークル「PENTAGON」を立ち上げました。全てのことを1から取り組み大変でしたが、大学祭では屋台を出展したり、メンバーの母校に行き高校生と試合をしたりとサークル活動を通して様々な経験ができました。水野邦夫教授のゼミでは「顔から受ける印象について」研究をしていました。その過程で学んだ、相手にいい印象を与える話し方であったり、見た目、動作というのは今現在の営業職という分野でも、お客さま・お得意先さまに良い印象を与えられるよう役に立っています。



バスケットサークルでの練習にて仲間たちと

と担当し、他のセールスが今までやっていなかった事、出来なかった事を積極的にやりたいと考えています。そして、他のメーカーや問屋のセールスにもっと顔を広め、少なくとも近畿圏ではフルタ製菓のセールスと言え浅井と言われるような存在になって、フルタ製菓を引っ張っていける営業マンを目指します。

最後に就職活動に臨む後輩たちへのメッセージを。

始めからやりたい仕事が決まっている人はその目標に向かって頑張れると思いますが、まだ迷いのある人は、興味のない業種や企業の説明会へも、積極的に参加してください。自分のやりたいこと、興味のあること、向いている職業が見えてくるかもしれません。今から就職活動に臨む人は、学生の間に色々な経験・体験をしてください。社会に出ると



入職を決意されたきっかけは？

就職活動中に多種多様な職業を調べている中、フルタ製菓のホームページに辿りつきました。サイトを見てみるとチョコエッグという商品を見つけました。この商品を見た時に、私が小学生のときに父が中身のおまけを集めるためにチョコエッグを買い、おまけは父のもの、外側のチョコレートは兄弟で食べていたという記憶が蘇ってきたことから懐かしい気持ちになり、

ストア等にフルタ製菓の製品を店頭で並べるのが現在の担当です。奈良県にも営業で足を運んでいますので、学園前キャンパスの前を通った際には在学時のことを思い出したりしています。もしかするとスーパーでの作業中や、奈良での運転中に皆さんとすれ違ったりにしているかもしれないですね。

印象に残るエピソードは？

毎日得意先から注文を頂く中で商品が欠品してしまうことや、急に商

品を手配して欲しいといわれることがあります。1つ1つ対応していくのはとても手間も時間もかかりますが、こういう時こそ得意先の人との関係を深めるチャンスになるので積極的に連絡を取り、相手の希望に沿うように動いています。それを心がけるようになってからは信用してもらえるようになり、本当に困った時にはこちらのお断りをお願いして頂けるようになり、得意先へ何うのも気軽に行けるようになって商売をしやすい環境になりました。

現在の仕事について教えてください。

近畿圏内の菓子問屋を通してコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグ

お仕事をする上で、工夫していることはありますか？

私にとつてのお客さまとは問屋やスーパーマーケットを指しますが、お客さま毎に求めているご要望は異なります。まずはお客さまと積極的に話をしてお客さまのご要望を聞きだし、要望に沿う商品やフェアや販促物、イベント等、売り方を含めた提案を行い最大限お客さまのご要望に応えられるよう心がけています。最近では弊社の宣伝カーを使った店頭イベントを積極的に実施しており、主催のスーパーマーケットからも好評をいただきSNS等にも取り上げられているようです。

今後の目標とされていることは？

営業としての目標は得意先でフルタ製菓の商品を1品でも多く採用いただき、皆さまのお手元に届ける機会を増やす事です。大手企業をもつ

卒業生紹介

Introduce graduate



浅井 啓介さん

心理福祉学部 心理学科卒(現:心理学部 心理学科)
2013年3月卒業
フルタ製菓株式会社 大阪支店 勤務

8月

August

▼25日

地域連携・産官学連携イベントを開催
大阪ステーションシティ時空（とき）の広場にて、奈良県五條市との包括協定に基づく地域連携イベントの一環として「自然と遊ぼう！食を学ぼう！」を開催。学生たちが中心となって取り組み、クイズやダンスイベントなどさまざまな催しで、多くの来場者の方に楽しんでいただけた。



想値を競う「第15回学生対抗円ダービー」主催：日本経済新聞社の最終順位が決定し、本学経済学部伊原豊實教授ゼミの陳凱さんのチームが参加312チーム中、見事16位と健闘しました。

▼8日
みおつくし福祉会東さくら園とボランティア協定を締結
本学心理学部は、社会福祉法人みおつくし福祉会東さくら園（廣瀬みどり施設長、大阪市東成区）との間で、アドベンチャーカウンスリングによる教育支援とボランティア派遣に関する協定を締結いたしました。



▼27日

奈良ひとまち大学 学園祭に参加しました
奈良市立中部公民館において開催され、本学は大和ベジサイダーあかね・まなの特別販売とスマホゲームアプリ「シギサン8」のプロモーションなどを行いました。近隣の方も多く来場され、本学学生が取り組む様々なプロジェクトに関心を示しておられました。



▼30日

奈良・東生駒キャンパスにおいて平成27年度9月卒業式を挙

9月

September

▼3日

「第15回学生対抗円ダービー」で本学チームが健闘！
大学生がチームで為替レートの予



▼6日

奈良県警察本部長による講義を実施
奈良・東生駒キャンパスにおいて、奈良県警察本部長 羽室英太郎様による講義を実施しました。警察組織やその実際の活動を理解し、犯罪予防に関する最近の諸問題を把握することを目的として開講されるもので、学生との質疑応答ではスマートフォンやSNSなどにおける身近な情報セキュリティ対策についてもご助言をいただきました。



▼28日

「本気の女性＋男性も集まれ！in生駒」に参加しました
奈良県を中心に活動する女性企業家が出会い・つながり・新しい可能性を生み出すきっかけをつくる目的で生駒市コミュニティセンター文化ホールにおいて開催され、本学からは、学生たちが、本イベントの運営サポートと取り組みの広報活動に参加しました。普段お会いできない様々な企業の方たちとも意見交換をおこなった学生たちは、企業家の方々の生の声に熱心に耳を傾けていました。



12月

December

▼6日

食物栄養学科チームが社会人基礎力育成グランプリで準優秀賞を獲得！
各大学のゼミ等で「どのような活動に取り組み、どのように社会人基礎力に必要な3つの力を成長させることができたか」について、プレゼンテーションの内容を競う「社会人基礎力育成グランプリ2016 近畿地区予選大会」が大阪工業大学にて開催され、各大学から多数出場する中、本学からは現代生活学部食物栄養学科 河合洋見教授ゼミのチームが出場し、見事「準優秀賞」に選出されました。



10月

October

▼9日

「TEZUcate」活動報告会を開催
五條市役所において、地域連携事業による道の駅学生レストラン「TEZUcate」の活動報告会を開催し、4年生18名で構成される1期生が、本プロジェクトの締めくくりとして、太田好紀五條市長、山田真一奈良国道事務所課長をはじめとする関係者の方々に対し、「TEZUcate」での活動報告を行い、市長から激励の言葉をいただきました。



▼24・25日

平成27年度保護者教育懇談会を開催

11月

November

▼7日・15日

学園前アートウィークが開幕
学園と地域住民、文化施設とが一体となつて地域の魅力を見つめ直し、積極的な交流を行うことで街を育てる「街育」を推進する目的で開催されました。期間中は、近鉄「学園前」駅南エリアの9つの会場で、現代アートの分野で活躍する14名の美術家の作品などが展示され、会場は数多くの来場者で賑わいました。



虹色祭・ホームカミングパーティ開催!



11/22(日)と11/23(月・祝)の二日間、奈良・東生駒キャンパスにおいて、第51回「虹色祭」(大学祭)およびホームカミングパーティを開催しました。

今年のテーマは、「Remake～51のRestart!～」。

昨年50回目という節目を迎えた本学がより一層飛躍するように、という意味がこめられています。

初日から、会場は大変な賑わいとなり、お馴染みの模擬店やクラブ・サークルによる展示・発表、ライブ演奏、チャリティーカットなど、イベントが盛りだくさんでした。

1日目のフィナーレを締めくくるステージでは、アーティスト「AK-69」のライブパフォーマンスに、会場は秋夜の寒さを吹き飛ばすような熱気につつまれました。

2日目は、あいにくの雨にもかかわらず多数の来場者の方で賑わい、フィナーレに打ち上げられた花火は、来場者の注目を大きく集めていました。

また、卒業生を招いたホームカミングパーティも開催され、多くの卒業生が恩師や友人との再会に旧交を温めていました。



職員紹介



岡崎 綾子
入学センター 入試課
(奈良・東生駒キャンパス)

私は、現在入試課で募集広報に関する業務を担当しています。以前は、企画・広報課で大学全体の広報業務を担当していたこともあり、今までに多くの学生や卒業生、そして高校生とお話する機会がありました。進学相談会で接する高校生にも必ずお伝えしていることですが、大学の4年間は自分の後の人生に大きな影響を与える大切な期間だと思います。

私自身もそれなりにいろいろなことに挑戦してみた大学4年間でしたが、取材等を通じて学生たちが自分の夢や目標に向かって頑張っているお話をきくと、もっといろいろなことに挑戦しておけばよかった!と思うこともしばしばあります。学生時代の頑張りや、社会に出たときに役立つ礎になりますので、ぜひ貪欲に色々な人に関り、様々なことを挑戦して、学生生活を楽しんでください。



近藤 浩
学生支援センター キャリアセンター
(奈良・学園前キャンパス)

10月は3年生の初回個人面談を実施し、約400名の希望進路を確認しました。学園前キャンパスには心理学科・食物栄養学科・居住空間デザイン学科・子ども学科の4学科の学生が在籍しています。卒業後の進路も幅広い業種や職種で考えている学生もいれば、学科の専門を活かして管理栄養士、建築設計や施工管理、小学校教諭や幼稚園教諭、保育士などを目指す学生もいます。

初めての職業選択・就職活動への不安を感じている学生もいるので、個別相談で話を聴いたり、就職活動に役立つ情報提供を行っています。10月以降は就職対策セミナーなどの就職支援行事が始まりました。キャリアセンターを活用して目指す進路に向けた準備と一緒に始めませんか。

帝塚山大学図書館では、地域の生涯学習機関として、一般の方々に向けてさまざまな取組みを進めてきました。

昨年度の大学創立50周年を機に新たに始めた「貴重書展示とともに楽しむ公開講座」のような、大学の知的資産を公開する図書館ならではの特徴的な試みも、ご好評をいただいています。

この事業採択を受け、両キャンパス図書館の閲覧机や椅子を刷新し、地域連携のなかでさらに有効活用できる図書館の実現を計画しています。地域社会の活性化をめざし、大学の社会的責任を果たしていく所存です。

Information from the General Affairs Division

総務課からのお知らせ

「TEZUKAYAMA FOREST CAFE」が9月28日にオープンしました。



株式会社東急ハンズのデザイン監修により、奈良・東生駒キャンパス9号館1階学生ラウンジにくつろぎのカフェ「TEZUKAYAMA FOREST CAFE」がオープンいたしました。店内は、自然に囲まれている帝塚山大学にぴったりの、森をイメージしたデザインとなっており、食器や小物、1つ1つにもこだわっています。レジの横のショーケースには毎日、ケーキやドーナツ、サンドイッチやサラダなどが並んでいます。客席は、大きな窓で囲まれているため、明るく、暖かい雰囲気が人気です。様々な種類のイスや机があり、一人でまったり、大勢でわいわいといろんな場面でご利用いただけます。営業時間：月～金 10:00～17:00（大学休中は営業時間を変更する場合があります）※お車でのご来場はいただけません。公共交通機関をご利用ください。

Information from the Museum

博物館からのお知らせ

企画展示 **第8回帝塚山大学博物館実習生による「東アジアの鏡Ⅰ—文様にこめられた想い—」**

帝塚山大学所蔵コレクションから中国、朝鮮半島で出土した銅製の鏡53面を選び、鏡に表された文様をもとに鏡にこめられた古代の人々の想いを考えます。この展覧会は帝塚山大学学芸員課程を履修する学生が企画、展示し、展示解説も行います。

[期 間] 1月12日(火)～2月2日(火)
[開館時間] 9:30～16:30 [入 場 料] 無料
[休 館 日] 日曜・祝日(1/28・29は休館)
[展示解説] 1月19日(火)・23日(土)・26日(火)・30日(土)いずれも12:30～

【お問合せ先】
帝塚山大学附属博物館
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-9700 **Fax** 0742-48-8783
http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/

Information from the Library

図書館からのお知らせ

図書館がより使いやすくなります。

本学は、平成27年11月18日付で、文部科学省「平成27年度私立大学等改革総合支援事業」に選定されました。本学図書館が対象となったタイプ2「地域発展」の取組みでは、地域社会貢献を主眼とした生涯学習機能の強化等を支援することを目的としており、地域をアカデミックに活性化しようとする図書館の姿勢が高く評価されました。

■ MOSってこんな資格

MOSとは『マイクロソフト オフィス スペシャリスト』の頭文字をとった呼び方です。言葉からもわかるように、マイクロソフトのアプリケーションであるWord、Excel、Power Pointなどの利用能力を証明する資格です。

■ MOS取得のメリット

① MOSは全世界で通用する マイクロソフト社が認定する資格なので認知度が高く、その規模は全世界に及びます。

② 試験後すぐ合否がわかる MOSの試験結果は試験のその場ですぐわかるので取得後はすぐに履歴書に記入できます。

③ 活用場は多数 事務職や営業職に限らず、パソコン業務はどんな仕事でも必要です。今やパソコンスキルは必須のスキル！学生のうちに取得しておきましょう。

■ MOS講座の学内合格率（2015年度）

学内で実施されているMOS講座の合格率は、なんと…

MOS Word対策講座

97.6 %

MOS Excel対策講座

84.2 %

※2015年度 合格率平均

これから資格取得を始める人、どの資格にするか悩んでいる人はまずMOSからチャレンジ！

申込み方法

申込みされる講座内容、および日程を『資格取得講座ガイド』・『Webサイト』よりご確認のうえ、以下の方法でお申込みください。

【資格コーナーにてお申込み】

キャリアセンター資格コーナー窓口にて申込み専用フォームから申込み手続きをします。

※申込み手続きの際に、スマートフォン・携帯電話を使用します。必ずご持参ください。

【Webサイトからお申込み】

専用のWebサイトからお申込みが可能です。

http://www.tezukayama-u.ac.jp/career/extension/

トップページ→お申込みフォーム

必要事項を専用フォームにご入力ください。お申込みいただいてから、資格コーナーより確認の連絡がありますので、しばらくお待ちください。

※12/27～1/7はキャリアセンターが閉室となり、資格コーナーでのお申込はできかねますのでご注意ください。また、この期間は冬期休業期間となっております。ご連絡が遅れる場合がありますので、ご了承くださいませ。

定員：50名 ※全2回講座

講師：岩橋 明子（帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科講師）

会場：西部公民館 4階 会議室

【申込・お問合せ先】

往復ハガキ（講座名・〒住所・電話番号・名前（ふりがな）・年齢を必ず記入）または、下記URLより「参加申込」フォームでお申込みください。

公益財団法人 奈良市生涯学習財団 西部公民館
〒631-0034 奈良市学園南三丁目1番5号 西部会館内
Tel 0742-44-0101 **Fax** 0742-44-0103
http://manabunara.jp/

帝塚山大学奈良学総合文化研究所「名品・名作誕生Ⅻ」

- 第1回** **2月6日（土）10:30～12:00**
【演題】 八幡信仰の誕生と神功皇后
講師：上嵐 真弓（帝塚山大学文学部非常勤講師）
- 第2回** **2月13日（土）10:30～12:00**
【演題】 長谷寺本尊十一面観音の『誕生』と『再生』—造像の物語と、焼亡・復興の軌跡をめぐって—
講師：杉崎 貴英（帝塚山大学文学部准教授）
- 第3回** **2月20日（土）10:30～12:00**
【演題】 古事記の言葉
講師：中島 一裕（帝塚山大学文学部教授）
- 第4回** **2月27日（土）10:30～12:00**
【演題】 御霊信仰の成立
講師：鷲森 浩幸（帝塚山大学文学部教授）
- 定員：各回100名
会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室

【お問合せ先】
帝塚山大学 奈良学総合文化研究所
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-8842（火・木・金 9時～17時）

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催 市民大学講座

- 第358回** **1月9日（土）14:00～15:30**
聖徳太子と王領の地・駿河
講師：岩宮 隆司（帝塚山大学）
- 第359回** **1月23日（土）14:00～15:30**
山の信仰と鏡
講師：中川 あや氏（奈良文化財研究所）
- 第360回** **2月13日（土）14:00～15:30**
藤原京の造瓦とその背景
講師：石田 由紀子氏（奈良文化財研究所）
- 第361回** **2月27日（土）14:00～15:30**
石の考古学
講師：奥田 尚氏（奈良県立橿原考古学研究所）
- 第362回** **3月12日（土）14:00～15:30**
織豊期の金属工芸とその製作背景—梵鐘を中心に—
講師：服部 敦子（帝塚山大学）
- 第363回** **3月26日（土）14:00～15:30**
東アジアの埴（せん）～その連続の美～
講師：清水 昭博（帝塚山大学）

定員：各回200名
会場：奈良・東生駒キャンパス5号館5104教室

【お問合せ先】
帝塚山大学考古学研究所・附属博物館
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-9700 **Fax** 0742-48-8783
考古学研究所：http://www.tezukayama-u.ac.jp/arch
✉ arch@tezukayama-u.ac.jp

2016 January-June INFORMATION & EVENT NEWS お知らせ・イベントニュース

冬季一斉休業のお知らせ

帝塚山大学は、12月28日(月)午後～1月7日(木)まで、冬季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問合せにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問合せに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Open lecture 公開講座

帝塚山大学経済学部・経営学部公開講座 第1部 経済学部

「行動経済学と健康政策」

我が国は、どうすれば健康長寿社会として豊かに過ごすことができるかが喫緊の政策的課題となっている。現在、この課題に回答しうる新しい経済学が、実際の人間行動を柔軟に織り込んだ行動経済学と呼ばれる分野である。今後の日本が直面していく健康政策課題に、行動経済学がどのように回答できるのか検討したい。

3月5日(土)10:30～12:00
講師：長塚 昌生（帝塚山大学経済学部講師）

第2部 経営学部「スポーツ産業の発展とメディアの進化～2020年日本オリンピックに向かって～」

生涯スポーツ時代に突入したと言われる日本において、スポーツ産業の発展は目まぐるしい。2020年に行なわれるオリンピックによって、スポーツに関する様々な市場は活性化されていくだろう。その活性と発展の背景にはメディア産業との密接な関係性が存在する。一例として読売、楽天、そしてソフトバンクなどである。スポーツとメディアという深い関係性から、様々なケースを挙げ考察を行う。

3月5日(土)13:00～14:30
講師：槐原 寿識（帝塚山大学経営学部講師）

定員：各回50名
会場：奈良・学園前キャンパス 18号館3階18311大講義室
※どちらか1講座だけのお申込みも可能です。

【申込・お問合せ先】

ハガキ・FAX・大学HPよりお申込みください。

①講座名②郵便番号・住所③氏名（ふりがな）④電話番号・FAX番号⑤年齢・性別を明記の上、「帝塚山大学 広報課 公開講座係」までお申込みください。

帝塚山大学 広報課 公開講座係
Tel 0742-48-9192 **Fax** 0742-48-6092
http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/

帝塚山大学・奈良市生涯学習財団西部公民館共催公開講座「今から始める!生活習慣予防」

自分の健診結果や食生活を振り返り、メタボリックシンドロームの危険度や食事バランスなどをチェックします。健診結果の意味、生活習慣病が起こる仕組みや予防のための食生活のポイントについて学びます。10年後、20年後もいきいきと元気で家族や仲間と生活を楽しむために、自分の生活習慣改善のアクションプランを立てましょう。

- 第1回** **2月27日(土) 10:00～11:30**
「何から始める?アクションプラン」
(健診結果がある方は当日ご持参ください。)
- 第2回** **3月5日(土)10:00～11:30**
「あなたの食事バランスをチェック」



国際交流

留学生紹介

和菓子で故郷と日本をつなぎたい

今回は、経営学部3年生のチャン・ティ・カム・チャウさんを紹介いたします。チャンさんはベトナムから白鳳女子短期大学(現白鳳短期大学)を経て本学へ3年次編入しました。母国では助産師の資格を持ち、実務も経験しましたが、生け花や和菓子に興味を抱くようになり、転身を図りました。

来日後

来日して約4年半ですが、食事など日常生活にもすっかり慣れ、来日前より日本の印象は良くなったそうです。

文化や習慣の違いに戸惑った経験を伺ってみました。「アルバイト先の同郷の友人に出産祝いを贈る際、ベトナムの習慣に倣いシンプルなお品を用意しましたが、日本の友人は豪華なものをプレゼントしていました。生活習慣の違いなんだな、と思いました。」

地域貢献

9月にチャンさんは学園前の西部公民館でベトナムに関する講座の講



チャン・ティ・カム・チャウさん



ベトナム料理教室で講師を務めるチャンさん

師を3回にわたって務めました。ベトナムの観光地、生活習慣などの座学に加え、生春巻きの調理、民族衣装の着付けなどの実習も交え、約15名の受講者は居ながらにしてベトナム気分を味わうことができたようです。

将来の夢

当初助産師を目指した理由はお母様の存在でした。そのため、転身はお母様にはショックだったようですが、彼女の意思を尊重して下さったそうです。卒業後は2、3年日本で働く間に準備を整え、まずは日本の和菓子店の支店をベトナムに開きたいとのこと。次のステップは現地での製造と販売です。もち米、餡作りに欠かせない小豆など、和菓子の原料はベトナムでも栽培されているので、いずれはチャンさんのオリジナルブランドによる和菓子を味わうことができるかも知れませんね。

2016年度 学部入試日程一覧

入試区分 (種別)		願書受付期間			試験実施	合格発表日
		開始	終了	持込		
一般入試	A日程前期	1月6日(水)	1月22日(金)	1月23日(土) 1月25日(月)	1月28日(木) 1月29日(金)	2月6日(土)
	A日程後期		2月3日(水)	2月4日(木) ~2月6日(土)	2月7日(日)	2月13日(土)
	B日程	1月26日(火)	2月18日(木)	2月19日(金) 2月20日(土)	2月23日(火) 2月24日(水)	3月2日(水)
	C日程	2月15日(月)	3月4日(金)	3月5日(土) 3月7日(月)	3月9日(水)	3月13日(日)
大学入試センター 試験利用入試	前期	1月6日(水)	2月3日(水)	—	—	2月13日(土)
	前期(併設高校)					
	後期	2月15日(月)	3月4日(金)	—	—	3月13日(日)
帰国生徒・ 外国人生徒 試験	後期	2月13日(土)	2月18日(木)	—	3月9日(水)	3月13日(日)
外国人 留学生 試験	後期 指定校	1月20日(水)	2月2日(火)	—	2月23日(火)	3月2日(水)
AO入試	3月	2月26日(金)	3月9日(水)	3月10日(木) 3月11日(金)	3月16日(水)	3月17日(木)

※詳細については募集要項をご確認ください。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

Tel 0742-48-9149(直通) Fax 0742-48-9021
✉ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2016年度 大学院入試日程一覧

博士前期課程・博士後期課程

出願期間 1月25日(月) ~ 2月1日(月)

締切日消印有効

選考日程 2月12日(金)* 合格発表 2月17日(水)

※選考方法については、下記までお問合せください。

お問合せ先

経済学研究科 経済学専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
Tel 0742-48-9861 [教学支援課(経済学部)]

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
Tel 0742-48-8150 [教学支援課(人文学部)]

法政策研究科 世界経済法制専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
Tel 0742-48-9461 [教学支援課(法学部)]

心理科学研究科 心理学専攻(心理学専修・臨床心理学専修)

〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3
Tel 0742-41-4720 [教学支援課(心理学部)]

